



# 日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043(222) 7207 番  
95.7.7 No. 4219

自作自演のデマで新たな攻撃

# 危機にたつJR総連

## 自作自演のデマ キャンペーン

革マル派による極めて卑劣な  
国労と清算事業団闘争に対する  
破壊攻撃が仕掛けられている。

革マル派は、彼らの機関紙「  
解放」で、毎号のように「国労  
が亀井運輸大臣らに1億9千万  
円の秘密献金」などという、自  
作自演のデマキャンペーンをは  
り、記者会見まで行い、また、  
この間国労を支援してきた文化  
人等に連日のような嫌がらせ電  
話をかけ、「国労と手を切れ」  
と恫喝を行なっている。

革マル派のいう「秘密献金」  
は全くのデマだ。彼らがその証  
拠としている国労役員のメモな  
るものは、明らかに革マル自身  
によってねつ造されたものだ。

このような攻撃に対し、国労  
は、革マル派を告訴し、また、  
亀井らも革マル派を告訴した。

一方JR総連も、「国労は存  
在そのものが犯罪的」などと機  
関紙で書きつらね、松崎は、「  
清算事業団問題の解決は、政治  
でも、JRでもなく東労組があ  
たる」などと語り、またJR東  
労が国労東日本本部に対して「  
三役間」の話し合いの呼びかけ  
を行なうなど、国労への介入と  
破壊の策動を強めている。

われわれは、このような、革  
マルとJR総連による卑劣極ま  
りない国鉄労働運動解体攻撃を  
断じて許さない！「存在そのも  
のが犯罪的」などという言葉は、  
そっくりそのままJR総連に返

してやる必要がある。

## ついに「走狗煮 らる」関係に！

こうした一連の事態の特徴は、  
革マル派という党派が、オウム  
ばりの自作自演のデマを根拠と  
して、組織をあげて、極めて異  
様な国労・清算事業団闘争解体  
運動、JR総連防衛運動を開始  
したということだ。

背景にあるのは、明らかに「  
走狗煮らる」関係に入ったJR  
総連・革マルの危機である。

分割・民営化体制の破たん  
その抜本的な見直しに向けた動  
きは、JR東日本とJR総連・  
革マルの異常な癒着体制をも清  
算・一掃の対象しようとして  
いる。JR総連は、国鉄労働者  
の首切りに手を染め、国鉄労働  
運動の解体に奔走した「功績」  
も過去のこととして、最もみじ  
めに使って捨てられようとして  
いる。とくに、「二〇二億合意」  
以降激化している、清算事業団  
闘争つぶしと国労取込みの攻撃  
は、明らかにJR総連・革マル  
をも串刺し的に排除しようとし  
るものだ。JR総連は、明らか  
に断崖絶壁に立たされ、「乱調」  
としか言えないような絶望的な  
最後の攻撃をしかけようとして  
いるのだ。

動労千葉にかけられている勝  
浦運転区廃止攻撃も、このよう  
なJR総連の危機を背景とした  
攻撃であるとする必要がある。  
だからこそ、何ひとつ道理がな

いのである。

## 今こそJR総連 解体の闘いへ！

このようなファシストばりの  
国鉄労働運動解体攻撃を一齐に  
開始する一方で、JR総連・革  
マルは、「憲法九条を世界に広  
げる」などと称するデマ運動を  
展開している。この「運動」も、  
今やその本質は明らかである。

JR総連・革マルの組織的危機  
をのりきるために、知識人や文  
化人をだまして動員し、それを  
隠れみのにして延命をはかる運  
動に他ならない。あたかも、JR  
総連がまともな労働組合である  
かのように押しだすためのペテ  
ンである。われわれは、このよ  
うなデマ運動を絶対に許すこと  
はできない。

情勢は、反転攻勢への好機で  
ある。今こそ、全ての国鉄労働  
者が、積年のJR総連・革マル  
に対する怒りを解き放つてJR

総連・革マルを打倒し、闘う国  
鉄労働運動の再生をかちとらな  
ければならない。

## 敵を追いつめた われわれの闘い

重要なことは、敵の側から清  
算事業団闘争に政治的な「決着」  
を迫ってきているこの間の一連  
の動きも、JR総連・革マルの  
危機も、一〇四七名の闘いが、  
十年間に及ぶ攻撃をはね返し、  
くじけず闘いぬいたことによつ  
て、敵の側がもう我慢できなく  
なっていることよって起きてい  
る問題だということである。追  
いつめられているのは敵の側だ。  
問われていることは、今こそ、  
確固たる闘いの原則を貫き、国  
鉄労働者が全ての労働者の先頭  
にたつことだ。われわれは、JR  
総連を解体し、全ての労働者  
の怒りを集め、闘う労働運動の  
新しい潮流をつくりあげるその  
先頭にたつ決意である。

# 7.9



## 団結地引き綱大会

☆9時より

☆九十九里・一松海岸

海の家「あいの」

動労千葉サークル協議会